

定時制の灯を守ろう！ No. 115

2013年7月9日

守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>

都立定時制高校を守る会・連絡会 事務局発行

定時制を守る会～

年次総会に 参加してみませんか

★日時：7月21日（日）18時から20時まで

★場所：豊島区民センター（JR池袋東口下車徒歩7分）

★内容：三部制・夜間定時制の実態交流、活動報告・方針・予算の確認など



盛り上がりましたね！

現職教員によるトーク

「守る会」4月集会～

～私にとっての定時制

去る4月13日、定時制を守る会主催の集会が持たれました。テーマは「私にとっての定時制」。定時制に今勤務している若手教師3人が、定時制に対する自分の思いや教育観を腹藏なく出し合い、語り合いました。また、今年定時制に異動したばかりの青年教師が飛び入り参加、計4人の若手教師のエネルギーと感性のみずみずしさに圧倒されっぱなしの2時間となりました。以下、その要旨を紹介します。



Aさん：生徒は、他の定時制と同じで、不登校だったり、全日を落ちて来たという子が多い。授業に行くと教室で座って待っている。授業中も騒いだりしない。私は赴任してすぐ2年生の担任に入った。その時点でクラスには23人在籍。1年から2年に上がる時、8人進級できなかったと聞いている。先生の中には必ず評定の「1」をつける方がいて、毎年、成績で少なからぬ生徒が留年する。学級通信を出しているが、生徒達は通信を折りたたんで持ち帰ってくれるのが嬉しい。保護者からも反応がある。文化祭では大きな壁画を作った。様々な生徒がいるが、壁画を作っていく

中で自然とリーダーができて、生徒達が生き生きしてくる。それが何より嬉しい。行事を減らすという傾向があるが、こういう交流の場と時間をもっと保障すべきだと思う。進路のことだが、サポステ（サポート・ステーション）の存在を初めて知った。ただ、進路に関しては、なかなか生徒たちは前向きになれない。学校側も、進路部の「実績」をあげるため、無理に生徒を会社に押し込む傾向がある。今年の4月に入ってすぐ、3月に卒業したばかりの生徒から電話あって、会社を1週間でやめたという。進路を決めるにあたって、もう少しじっくりと時間をかけてあげたい。最後に・・・様々な生徒がいるから、一人一人のことを語っているときりがないけど、今、教室の一番前に座っている生徒は、父のお下がりのバッグを持っている。

もうボロボロになっているんだけど、それを大切そうに抱えている。それを見ると、我々教員はどこを向いてやっていけばいいのかと思う時がある。茶髪をヤメロとか、進路の実績を上げるとか、そういうことよりも大切なことがある気がする。「良い学校」に異動したかったら研修をやれとか良く言われるけど、何を求めて教師をやっていくべきなのか、これからも考えていきたい。

Bさん：定時制の雰囲気はとても良いと思うけど、あえて問題提起もしたい。この間臨時職員会議があった。暴力事件を2回起こした生徒の処分をめぐってだった。その場で、ある先生が次のように発言。「暴力事件2回目ですね。そういう生徒を学校に置いて良いんですか？マジメな生徒を守らなくちゃいけないと思いますよ」。「マジメな生徒」に迷惑をかける生徒にどう向き合えばいいのかを、ずっと考えてきた。担任をしていた時、全から転入してきたNという生徒を担当した。彼は度の過ぎた暴力を裏でやっているらしく、ある時生徒部の事情聴取を受けた。私は担任として「事情聴取に立ち合わせて欲しい」とか「生徒にも黙秘権はあるはず」などと主張して生徒部の先生達に煙たがられた。Nは無事卒業したが、大変な生徒を排除して環境を守るべきなのか、それとも共生をめざすのか、いろいろ悩む。でも、やっぱり排除の論理はあってはいけないと思うが・・・それが問題提起の一つ。もう一つは、就職指導をしていたときに感じたことだが、定時制の良いところはサンクチュアリ（聖域）として残したいが、進路に関しては世の中甘くない。生徒と一緒にハローワークにも何回も通ったが、なかなかうまくいかない。全のようにビシバシ進路指導をすれば良かったのか。進路保障がうまくいかない現状を前にして、定の役割っていったい何だったのか、と悩んでしまう。



Cさん：3部制の学校にいる。その間、ずっとB勤務である（夜間定時制とほぼ同じ勤務時間）。私は3部制の仕組みが耐えられず、いつも文句ばかり言っている。3部制では、生徒が悩んでいても、それをキャッチして向き合う時間的余裕がない。授業が切れ目なく続き、放課後がないので生徒とゆっくり話し合う時間がとれない。また、担任団は1部（午前部）、2部（午後部）、3部（夜間部）で構成されるが、意志の統一がなかなかむずかしい。担当する部によって受け止め方が違ってくる気がする。ちょっとした例をあげると、酒気帯びで登校した3部の生徒が、校門のとこ

ろで注意され、帰宅させられた（それ以上の「処分」はしなかった）。翌朝、その件に関する1部の担任の感想は「1部なら特別指導だったかも」。生徒の雰囲気も3部それぞれ違う。文化祭で1部のクラスが「展示」をやることになった。2部、3部には「やんちゃ系」の生徒が比較的多く、にぎやかなものが好まれ、展示は人気がない。1部の担任に「展示をやるんですか。1部はマジメですね」と言うと、その担任が言う。「30人近く生徒がいるけど、文化祭に何やりたいかを聞いたら、展



示に手を挙げたのが数人。あとは特に意見なし。それで決まり。静かだったよ」と。それだけ雰囲気が違うのに、同じルールであたらなくてはならない。これってすごい矛盾でしょ？教員の体制に関しても、職員会議に全員はなかなか集まれない。A勤務（全日と同じ勤務）になるかB勤務になるかも、お互いに微妙に神経をつかう問題です。

Dさん：いやあ、定時制は良いですね。楽しい。まあ、生徒から「ぶっ殺す」なんて言われることもあるけど、でもすぐ誤解が解けてハグしたりして・・・、楽しいです。

以上の話を受けて、司会が、Bさんが提起した2点についての意見を求め、参加していた現職ベテラン教師や退職教師から1点目についての意見が出されました。2点目については時間切れ。さらに、「皆さん、組合に入ったきっかけは？」との質問が出され、一人が次のように答えました。「職場の女性数人が私のところに来て、『何も良いことないけど組合に入らない？』って言うんですよ。何も良いことないのに入る人がどこにいるの、って思ったけど、つい入っちゃいました。でもやはり、誘ってくれた方々が、尊敬できる人たちだったからかなって思います。でも後日談があって、家に帰ってそれとなく組合入ったんだ、ってつぶやいたら、それを聞いた親が怒っちゃって、父が母に向かって『お前の育て方が悪いからこうなった』なんて言いだして、でも親が反対してるから組合をやっぱり辞めます、なんて言えないし・・・そのまま今に至っています」。 (全員爆笑の渦でした)

参加者の感想を紹介して、まとめとします。

「初めて参加させていただきました。とても熱い意見が飛び交っていて刺激になりました。定時制高校の教育は、人間教育の原点だと思います。そういう中で生きてきた先生方だからこそその意見なのだろうと思いました。ありがとうございました」。